

## 中間処理施設における作業内容

- 施設概要  
東京都内の中間処理施設
- 取扱品目
  - 産業廃棄物
    - ◇ がれき類、繊維くず、紙くず、金属くず、木くず、ゴムくず、廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鉱さい
  - 一般廃棄物
    - ◇ 木くず、弁当がら、転居廃棄物
- 主要設備
  - 受入・供給設備
    - ◇ ダンプグヤードで作業用重機及び手作業の協働で仕分けされ、危険物・処理不適物及び再資源物を回収後、各品目毎の専用処理ラインに投入。
  - 手選別ライン
    - ◇ 破碎機に投入される前に、手作業により、危険物や破碎不適物の除去及び再資源物の回収等を行う。
  - 破碎設備
    - ◇ 破碎品目にあわせ、専用の高精度破碎機を配備。破碎機の種類は、高速回転式破碎機、油圧式2軸せん断破碎機に大別される。
  - 機械選別設備
    - ◇ 選別対象物にあわせ、専用の高精度選別機を配備。
  - 再生設備
    - ◇ 再生品を生成するため、各専用ラインにあわせた圧縮梱包施設、貯蔵用の製品タンクを配備。
  - 環境集塵設備
    - ◇ 各エリア、ダンプグヤード、手選別ラインには、集塵設備を設け、バグフィルターで粉じんを回収。回収された粉じんは、混練機で加湿、セメントと混合され、再生建材として再資源化。
  - ストックスペース
    - ◇ 投入前の産業廃棄物と処理後の成果物及び処分物をストックヤードで一時保管。その後、トラックで搬出。
- その他事項
  - 作業環境測定結果は、最も粉じん濃度の高い手選別ラインで、A測定で $0.5\text{mg}/\text{m}^3$ 程度、B測定で $1.3\text{mg}/\text{m}^3$ 程度。ダンプグヤードでは、A測定で $0.2\text{mg}/\text{m}^3$ 、B測定で $0.4\text{mg}/\text{m}^3$ 程度。他のプラントでは、作業場所が見通せないほど粉じんがでるところもあるとのこと。
  - 破碎設備、機械選別設備、再生設備は基本的に密閉型であるが、開口部はあるので、集塵機で集塵し、バグフィルターで粉じんを回収している。
  - この施設では、原則として屋内で作業を行うが、屋外で処理を行う他のプラントもあるとのこと。

ダンピングヤード全体図（上から撮影）  
写真の左下及び右下で、廃棄物の荷降ろし中



ダンピングヤード（外から撮影）  
粉じん発散抑制のため、水を噴霧しており、路面は濡れている



ダンピングヤード  
廃棄物が積まれたトラックの受入



ダンピングヤード  
降ろされた廃棄物を重機と作業員の協働による仕分け



### ダンピングヤード

降ろされた廃棄物を重機と作業員の協働による仕分け



### ダンピングヤード

作業員による廃棄物の選別（使い捨て防じんマスク着用）



ダンピングヤード  
作業員が荷の収容コンテナに乗って、荷均しと仕分け



ダンピングヤード  
仕分けされた処理ラインへの投入前廃棄物。  
状況により上から水を噴霧して、粉じんの発散抑制



ダンピングヤード  
上から水を噴霧



ダンピングヤード集じん吸引装置  
上：送風口、下：吸引口



手選別ライン  
作業員による廃棄物の仕分け（防じんマスク着用）



手選別ライン  
作業員による廃棄物の仕分け（防じんマスク着用）



## 仕分け品目一覧

破砕機に入れられないもの、リサイクル可能な物等に選別



手選別ライン出入口にあるエアシャワー室  
作業後の粉じんを除去





## 破碎設備

基本的に密閉系で自動化、運転中はメンテナンス要員がチームで巡回点検



混合廃棄物処理ライン用破碎機  
(コンクリートがら処理破碎機)



塩ビ系廃プラスチック類処理ライン用破碎機



非塩ビ系廃プラスチック類処理ライン用破碎機



木くず・紙くず・繊維くず処理ライン用破碎機



廃石膏ボード処理ライン用破碎機



蛍光灯処理ライン用破碎機

選別、破碎され、圧縮梱包された廃棄物  
フォークリフトによりトラックの荷台に積み込む



ストックスペース

投入前の産業廃棄物及び処理後の成果物を一時的に保管

屋内ストックヤード



製品ストックヤード

